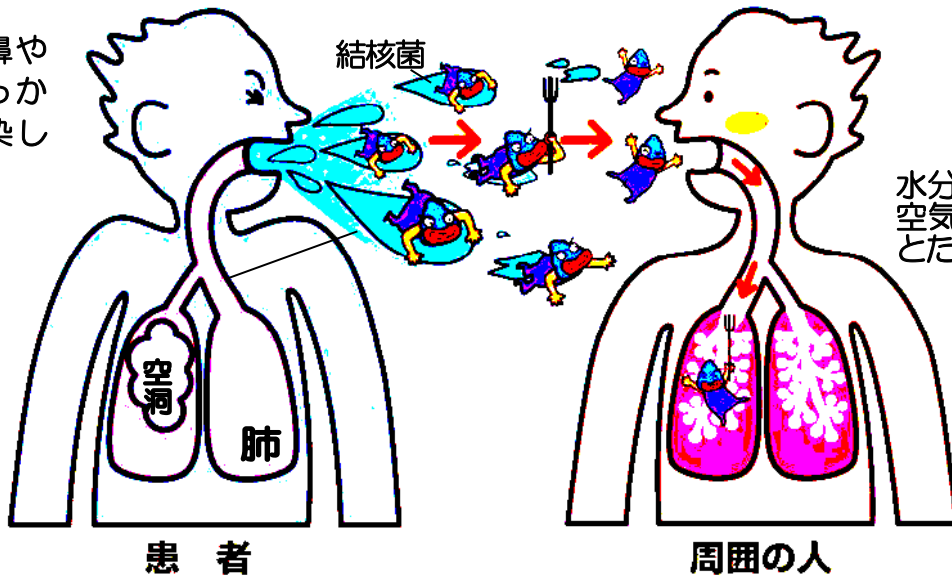


結核について知っていますか？

この度、市内医療機関で結核の集団感染がありました。高齢者は免疫の低下に伴い、結核にかかるリスクが高いと言われています。小樽市でも平成27年に発生した結核患者25人中、70歳以上が72%を占めています。全国では平成27年は1万8千人以上の新規患者さんが発生し、約2千人の方が亡くなっている重大な感染症であり、結核は決して昔の病気ではありません。しかし、正しい知識があれば、必要以上に怖がる病気でもありません。このチラシを是非日頃の業務の御不安・疑問に御活用ください。

～結核ってどんな病気？～

結核菌が鼻やのどでひっかかると感染しません。



水分を失った菌が空気中をふわふわとたどります。

■結核は空気感染する病気です。

結核菌の混ざったたんがせきやくしゃみと一緒に空気中に飛び散り、肺の奥深くまで吸い込むことで感染します。

結核は空気感染のため、患者さんの使用していた物や衣服などから感染することはありません。また、特別な消毒なども必要ありません。

■結核の症状は？

結核の症状は、風邪によく似ています。下記のような症状が2週間以上続く場合、利用者・スタッフを問わず、サージカルマスクをつけて医療機関を受診しましょう。

- ・せき ・たん、血たん ・発熱 ・胸痛 ・体のだるさ
- ・体重減少 その他、寝汗・食欲低下など。

*高齢者は典型的な呼吸器症状が出ない場合もありますので、「いつもより食欲がない、活気がない」といった症状の観察も重要です。

「感染」と「発病」は違います

感染の段階では結核を発病したわけではないので、結核菌を人にうつすことはありません。通常は免疫の働きで結核菌の増殖が抑えられるため、感染していても8~9割の人は生涯を通じて結核を発病しません。ただし、病気や加齢により免疫力が低下すると、体の中で結核菌が活動し、結核を発病する可能性があります。

裏面も御覧ください。



週1回通っているデイサービスで、結核になった人がいると聞いたのですが、このまま通っても問題ないでしょうか？

体調はよく、せきやたんの症状もないのですが、家族から心配して休んだほうがよいのでは、とされています。

【お答え】

保健所では、結核患者さんが発生した際は、患者さんと接触する機会があった方の接触状況などをお伺いした後、健康診断が必要と判断された方には、適切な時期に接触者健診の御案内をしています。

結核は接触してから、6か月～2年後に発病する可能性が高い病気と言われています。

相談者さんはせきやたんと言った呼吸器症状がないため、通常どおりデイサービスに通っていただいても問題ありません。ただし、すでにせき、たん等の呼吸器症状がある場合や呼吸器症状が現れた場合は、速やかに結核患者さんと一緒に過ごしたことがあることを伝え、医療機関を受診しましょう。

Q & A ~結核の治療について教えてください~

- 内服薬で治療します。服薬期間は概ね6～9か月間です。
- たんの中に結核菌が確認された患者は、基本的に入院治療を行います。
- たんの中に結核菌が確認されなかった患者は、外来通院で治療を行うこともあります。

結核の治療薬を正しく内服することで、結核は治る病気です。



Q & A ~結核の検査はどこで受けられますか?~

結核にかかっても症状が出ない場合があります。
レントゲン検査を受けましょう。

<肺がん検診>

対象：40歳以上の小樽市民（勤務先で健診を受ける機会のない方）

※職場健診のある方は、忘れずに受診しましょう。

とき：水曜日

会場：小樽市立病院

料金：無料（年1回）

検査内容：胸部レントゲン検査

※問診で必要と判断された方には喀たん検査を行います（300円）。

申込み：直接、小樽市立病院（電話：25-1211）へお申込みください。

検診に関する問合せ先：小樽市保健所 保健総務課
（電話：22-3115）

~保健所は結核の相談窓口です~

結核について御不明な点がありましたら、お気軽に御相談ください。保健所では、保健師が結核についての健康講話も実施しております。お気軽に下記までお申込みください。

問合せ先：小樽市保健所 健康増進課

〒047-0033 小樽市富岡1丁目5番12号

電話 22-3110 ファクス 22-1469

